

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	東信州中山道の魅力を高める地域整備事業
事業主体 (連絡先)	東信州中山道連絡協議会 (佐久市観光協会内 TEL0267-62-3285)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,998,000 円 (うち支援金: 1,498,000 円)

事業内容

江戸五街道の一つに数えられる中山道が通過する東信州は、軽井沢宿から和田宿までの各宿場に本陣や神社などの歴史スポットが点在しており、清らかな千曲川の流れと浅間山を望む街道が続いている。

しかし、東信州中山道を歩いて楽しむ観光客にとっては、中山道のルートが認識しづらいことから、スムーズに街道歩きを楽しむ環境を整備する必要があるため、中山道の街道沿いに案内看板を設置し、中山道に興味を持った観光客の誘導を図った。

また、地域住民の声にも耳を傾けることにより、中山道を観光資源としての意識を持ってもらうため、地域とも連携して事業を進めた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

軽井沢宿から和田宿までの東信州中山道において、案内看板を設置することにより、中山道のルートが観光客にとっても容易に分かるようになり、街道歩きを楽しむ観光客の利便性が向上した。

案内看板は統一したデザインで制作したため、東信州中山道の各種団体で一体感を持つことができ、これまでに以上に連携して事業を進める機運が高まった。

案内看板の設置にあたっては、地域住民の立ち合いも実施することにより、地域住民にも中山道が重要な観光資源であることを意識付けることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

案内看板の設置により、中山道のハード面の整備を行ったので、行政、民間の各種団体で連携し、ソフト面の事業を実施していくことにより、さらに観光地としての魅力を高めていく。

また、これまでと同様にWEBサイトで中山道の魅力を発信するとともに、街道イベントの支援や中山道を紹介するパンフレットも作成し、観光客の誘客促進を図っていく。



【地域住民の立ち合い】

【目標・ねらい】

- ①行政、民間の各種団体の連携による観光客の誘客促進
- ②地域住民の観光資源意識の向上
- ③街道歩きを楽しむきっかけ作り

※自己評価【B】

【理由】

当初の計画から変更が生じてしまった部分はあるが、地域住民に観光資源として意識高揚を図ることができたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある